

第2期 佐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 R2～R6(2020～2024)

基本目標及びKPI一覧(目標及び実績、達成評価)

該当項目	具体的な施策・事業内容	基本目標	事業KPI	目標年次	目標数値	R1末	R2末	R3末	R4末	R5末	令和5年度(4/5年目)結果分析	令和6年度以降の取組方針	担当課	累計	最終年度
						実績見込み 2019年度又は 2015～2019年 (出発点)	実績 2020 (1年目)	実績 2021 (2年目)	実績 2022 (3年目)	実績 2023 (4年目)					
基本目標	1. 地産外商を中心に魅力のある仕事をつくる		基幹作物の年間産出量	令和6年度	ニラ 840t イチゴ 182t トマト 72t ショウガ 1,080t	ニラ 769t イチゴ 147t トマト 69t ショウガ 996t	ニラ 716t イチゴ 175t トマト 82t ショウガ 875t	ニラ 747t イチゴ 159t トマト 82t ショウガ 759t	ニラ 733t イチゴ 167t トマト 156t ショウガ 880t	ニラ 809t イチゴ 188t トマト 83t ショウガ 879t	イチゴは、令和4年12月の豪雪によるハウス倒壊の影響を受け大きく減少しているが、多くの農家が再建したため6年度の産出量は回復の見込みである。	引き続き関係機関と連携し、希望者への新技術の導入支援や新規就農者の確保・支援に取り組む	産業振興課		○
			間伐面積	令和2年度～令和6年度	200ha	123ha	7ha	11ha	17.21ha	26.31ha	作業道を開設したエリアの間伐を推進し、前年よりは増加している。	搬出間伐が困難なエリアについては切り捨て間伐を推進する。	産業振興課		○
			観光客入込数	令和6年度	60,000人	45,000人	26,501人	31,952人	44,885人	204,601人	NHK連続テレビ小説「らんまん」放送の効果もあり入り込み客数が大幅に増えている。	リピーターの確保及び町全体への周遊促進に取り組む。	まちづくり推進課		○
			新規就業者数(農林商工観光など)	令和2年度～令和6年度	40名	48名	6名	11名	21名	28名	林業の地域おこし協力隊の募集を休止したが、町内商売での開業が5件あった。	林業の協力隊募集再開と農業の就農希望者の募集を積極的に実施する。	産業振興課		○
基本的方向	自伐型林業を核とした仕事の創出														
	自伐型林業の推進	集約化された林地面積	令和2年度～令和6年度	500ha	426ha	189ha	243ha	369ha	444ha	新たに斗賀野地区(川/内組)で集約化を実施した。	これまで意向調査を行ったエリアにおいて、管理契約の締結ができていない森林の集約化を進める。	産業振興課		○	
		間伐面積【再掲】	令和2年度～令和6年度	200ha	123ha	7ha	11ha	17.21ha	26.31ha	作業道を開設したエリアの間伐を推進し、前年よりは増加している。	搬出間伐が困難なエリアについては切り捨て間伐を推進する。	産業振興課		○	
		新規林業就業者	令和2年度～令和6年度	15名	25名	5名	9名	13名	13名	林業の協力隊の募集を休止した。	6年度は新規協力隊の募集を再開し、間伐等の森林整備の技術と知識の研修を重点的に実施する。	産業振興課		○	
	デジタル機器を活用したものづくりの強化	デジタル機器を活用した商品開発数	令和2年度～令和6年度	5件	3件	5件	5件	8件	8件	お菓子ボックス	発明ラボ内での商品開発に力を入れて取り組む。	まちづくり推進課		○	
	木材を活用した産業振興とエネルギー利用	森林資源フル活用センター木材取扱量 (R3開業予定)	令和6年度	※精査中 700t	-	-	-	-	-	事業中止	事業中止	産業振興課		○	
基本的方向	持続可能な農業の振興														
	基盤整備の促進及びスマート農業の普及	圃場整備事業化面積	令和2年度～令和6年度	20ha	-	0	0	0	0	佐川地区については、対象エリアの見直しを実施し、事業認可の申請を行った。	事業認可を得たので、詳細設計、改良区の設定等を行う。	産業振興課		○	
		スマート農業の推進「Next次世代型こうち新施設園芸システム」導入ハウス面積	令和2年度～令和6年度	2ha	-	0	0	0	0	NTTと連携し、イチゴ栽培に関するAIを活用した実証実験を行った。	実験結果を検証したのち、事業導入についての可否を判断する。	産業振興課		○	
		スマート農業の推進(イチゴ)民間植物工場の誘致及び整備	令和2年度～令和6年度	1箇所	-	0	0	-	-	事業中止	事業中止	産業振興課		○	
	地産地消及び地産外商による基幹作物の販売促進	基幹作物の作付面積	令和2年度～令和6年度	ニラ 15ha イチゴ 5ha トマト 2ha ショウガ 18ha	ニラ 14ha イチゴ 4ha トマト 1ha ショウガ 17ha	ニラ 14ha イチゴ 4ha トマト 1ha ショウガ 23ha	ニラ 14ha イチゴ 3ha トマト 1ha ショウガ 23ha	ニラ 11ha イチゴ 3ha トマト 2ha ショウガ 20ha	ニラ 15ha イチゴ 3ha トマト 2ha ショウガ 20ha	作付面積については、軽微な変更にとどまり、大幅な増減はなかった。	目標数値の達成に向けた取組方針の柱は、新規就農者の確保とおり、担い手育成総合支援協議会(JA・農・農委・町)で就業相談や農業経営支援の取組みを進める。	産業振興課		○	
基本的方向	道の駅を中心としたブランド戦略による生産・販売の強化														
	町産品販売・情報発信の強化	道の駅来客者数(R5開業)おもちゃ美術館・テナント含むレジ通過数	令和6年度	300,000人	-	-	-	-	316,486人	来客者数の把握ができていないためレジ通過数のカウントとした。初年度としては良好な入込客数となった。	定期的なイベントの開催など、来客数を増やす取組みを道の駅で実施していく。	産業振興課		○	
		道の駅総売上額(R5開業)おもちゃ美術館・テナント含む	令和6年度	304,800千円	-	-	-	-	393,164千円	開業後、約9ヶ月間の売上としては良好な売上となった。	はちきんの店等に協力を依頼し、佐川町産品の拡充を図る。	産業振興課		○	
	商品開発・磨き上げの強化	6次産業化された商品数	令和2年度～令和6年度	10件	7件	5件	9件	14件	14件	町として関わった商品開発は、令和4年度で終了しているが、道の駅開業に伴い新たな商品が販売されている。	商品開発等の相談があれば、既存のアドバイザー制度等を活用し支援を行う。	産業振興課		○	
		特産品開発及びブラッシュアップに関するワークショップ参加者数	令和2年度～令和6年度	250名	-	117名	-	-	-	今後、商品開発の事業を実施する場合には、改めて実施する。		産業振興課		○	
	地域と一体となった観光振興	上町地区及び地質館への入込客数【再掲】	令和6年度	60,000人	45,000人	26,501人	31,952	44,885	204,601人	NHK連続テレビ小説「らんまん」放送の効果もあり入り込み客数が大幅に増えている。	リピーターの確保及び町全体への周遊促進に取り組む。	まちづくり推進課		○	
		わんさかわっしょい体験博等での新しい体験プログラム達成件数	令和2年度～令和6年度	25件	30件	15件	27件	40件	41件	地域資源を活用した観光プログラムを造成し提供する。着地型体験観光イベント「わんさかわっしょい体験博」を開催	令和5年度で佐川町単独の「わんさかわっしょい体験博」は終了となるが、今後は洗城一体での「仁波ブルー体験博」へ移行	まちづくり推進課		○	
	佐川町ブランディングによりプロモーション強化	情報発信、PRイベント開催数又は参加数	令和2年度～令和6年度	5件	3件	5件	9件	13件	23件	移住相談会(東京・大阪)、練馬まつり、照馬まつり、高知駅よさこい号運行イベント(大阪)等	移住相談会(東京・大阪)、練馬まつり等に参加予定	まちづくり推進課		○	
		牧野博士生涯160年記念事業に関する事業参加者数	令和2年度～令和4年度	10,000人	-	-	-	281人以上	-	令和4年度に実行委員会組織内で実施した事業は、佐川町以外でも牧野博物館・福寿山自然の森博物館・練馬区立立野記念庭園等にもあるが、入り込み客数を把握できていないため、総数は不明。	牧野富太郎博士生涯160年記念事業は令和4年度で終了	まちづくり推進課		○	
基本的方向	後継者・起業者づくりの推進														
	農林業の後継者づくり/商工業の後継者づくり	新規就業者数	令和2年度～令和6年度	20名	23名	1名	2名	3名	5名	町として把握している人数は2人であった。	引き続き新規就業者確保に向けた取組みを継続する。	産業振興課		○	
		新規林業就業者数【再掲】	令和2年度～令和6年度	15名	25名	5名	9名	13名	13名	林業の協力隊の募集を休止した。	6年度は新規協力隊の募集を再開し、間伐等の森林整備の技術と知識の研修を重点的に実施する。	産業振興課		○	
		事業承継者数(農林商工)	令和2年度～令和6年度	3名	0名	0	0名	0	0	事業承継は、希望者がおらず取組みが進んでいない。	希望者がいれば、支援策等の情報提供を行い関係機関と連携し支援する。	産業振興課		○	
	人材育成の強化	商工業起業者数	令和2年度～令和6年度	5名	3名	1名	0名	5名	10名	空き店舗等の活用により、チャレンジショップ利用者を含め起業者が増えた。	引き続き、チャレンジショップを有効に活用する。	産業振興課		○	
		起業研修開催数	令和2年度～各年	2回	2回	0	0回	1回	1回	経営研修会1回の開催が出来た。	商工会と連携し引き続き行う。	産業振興課		○	
	商工観光分野の環境整備	上町地区及び地質館への入込客数【再掲】	令和6年度	60,000人	45,000人	26,501人	31,952	44,885	204,601人	NHK連続テレビ小説「らんまん」放送の効果もあり入り込み客数が大幅に増えている。	リピーターの確保及び町全体への周遊促進に取り組む。	まちづくり推進課		○	

第2期 佐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 R2～R6(2020～2024)

基本目標及びKPI一覧(目標及び実績、達成評価)

該当項目	具体的な施策・事業内容	基本目標	事業KPI	目標年次	目標数値	R1末	R2末	R3末	R4末	R5末	令和5年度(4/5年目)結果分析	令和6年度以降の取組方針	担当課	累計	最終年度
						実績見込み 2019年度又は 2015～2019年 (出発点)	実績 2020 (1年目)	実績 2021 (2年目)	実績 2022 (3年目)	実績 2023 (4年目)					
基本目標	2. ふるさと愛を醸成するとともに、新しい人の流れをつくる		県外からの移住者数	令和2年度～令和6年度	112名	110名	27名	40名	51名	56名	地域おこし協力隊着任者等	移住者向けの制度の周知、移住相談会、仁淀川流域イベント等の実施	まちづくり推進課	○	
			佐川で育った若い世代(15歳～24歳)の転出者数	令和2年度～令和6年度(5年目)	年平均 100名	年平均 123名	120名	143名	125名	134名	県外への進学・就職等	成人式等でのリターンチラシの配布等	まちづくり推進課	○	
基本的方向	移住受入体制の充実と情報発信の強化														
	情報発信の強化		移住相談会の実施、参加数	令和2年度～各年	4回	9回	4回	4回	4回	5回	高知暮らしフェア2回、仁淀川流域単独イベント	引き続きイベントに参加をし、単独イベントも行っていき。	まちづくり推進課	○	
			移住相談件数	令和2年度～各年	200件	163件	101件	100件	57件	101件	移住者や段階移住のイベントに参加をすることでより多くの方の移住相談をすることが出来た。	イベントに参加し支援情報等を発信していく。	まちづくり推進課	○	
	移住者の受入体制の充実		空き家バンクからの契約物件数	令和2年度～令和6年度	25件	19件(H28～R1)	3件	4件	5件	14件	空き家バンク説明会を行ったり、チラシを作成したりと情報発信を行い、物件数が増えたため物件を選ぶようになった。	引き続き情報発信を行っていく。	まちづくり推進課	○	
			移住者向け空き家改修補助件数	令和2年度～令和6年度	20件	7件(H30～R1)	1件	5件	10件	18件	空き家バンク説明会等でご説明を行った。	予算が限られてあるが、予算より多い申請があるため使用する人の管理を行う。	まちづくり推進課	○	
	移住者のしごとづくり・いきがいきづくり		地域おこし協力隊雇用数	令和2年度～令和6年度	45名	48名	9名	19名	29名	33名	発明ラボ、おもちゃ美術館	掲載サイトを増やし発信していく。	まちづくり推進課	○	
			移住者交流会の開催数	令和2年度～各年	5回	6回	1回	1回	0回	0回	予算の確保が出来ておらず実施できていない。	今年度も予算がないため、費用のからない交流会を考えている。	まちづくり推進課	○	
			わんさかわっしょい体験博での移住者企画数	令和2年度～令和6年度	30件	15件(H30～R1)	10件	17件	21件	21件	R3から仁淀ブルー観光協議会でも体験博の取り組み	R5年度で「わんさかわっしょい体験博」は終了	まちづくり推進課	○	
基本的方向	定住者の増加促進														
	ふるさと教育の推進		ふるさと教育に資する授業の各クラス時間数	令和2年度～各年	30時間	27時間	46時間	50時間	40時間	50時間	各校においてサカワークを活用し、地域を巻き込んだ「ふるさと教育」の取組が定着化し、日常化している。	・継続し、一層充実・深化させる。 ・6年度に開館する町立図書館と学校との連携を進める。	教委事務局	○	
			学校外の人材を活用した各クラス授業数	令和2年度～各年	10時間	8時間	6時間	15時間	10時間	18時間	コロナ禍の影響も薄らぎ、地域人材の活用も日常化している。	町立図書館との連携で、地域人材の活用を拡大・深化する。	教委事務局	○	
基本目標	3. 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる		婚姻届出数	令和2年度～令和6年度	170組	162組	30組	59組	82組	107組			まちづくり推進課及び健康福祉課	○	
			出生者数(R6合計特殊出生率の目標:1.71に基づく)	令和6年度	75人	80人(H30)	59人(R1)	53人(R2)	59人(R3)	48人(R4)			まちづくり推進課及び健康福祉課	○	
基本的方向	ライフステージに応じた切れ目のない支援の推進														
	出会いの機会の創出と「子育てしやすいまち」の推進		婚活イベント又は出会いの場としての内容を含んだイベント数	令和2年度～各年	5回	1回	1回	0回	0回	1回	商工会女性部による婚活イベント「さかわde婚活vol7～恋が生まれるバスツアー～を実施	今年度についても商工会女性部で婚活ツアー開催の予定	まちづくり推進課及び健康福祉課	○	
			婚活サポーターの登録者数	令和6年度	10名	2名	2名	2名	2名	0名	婚活サポーターが高齢化により辞任した	広報等で制度周知していく	まちづくり推進課及び健康福祉課	○	
			マッチングシステム登録者数	令和6年度	30名	7名	11名	14名	9名	8名	初回登録料の助成制度を導入中。周知を図り登録者数の増につなげた。	助成制度を継続し、登録者の増を目指す。	健康福祉課	○	
			ファミリーサポートセンターの登録者数	令和6年度	130名	103名	112名	131名	146名	153名	保育所を通じた制度周知と、個別の働き掛け	保育所を通じた制度周知と、個別の働き掛け	健康福祉課	○	
			ファミリーサポートセンターの活動件数	令和2年度～令和6年度	350件	326件	775件	939件	845件	882件	ニーズに応じた依頼員と提供員の丁寧なマッチング	ニーズに応じた依頼員と提供員の丁寧なマッチング	健康福祉課	○	
			親子連れで遊べる施設の整備数	令和2年度～令和6年度	2箇所	-	-	-	-	2箇所	R5.7おもちゃ美術館整備 R6.3牧野さんの公園整備	12月に町立図書館さと開館予定	健康福祉課及び各事業担当課	○	
	女性活躍の場の拡大		ファミリーサポートセンターの登録者数【再掲】	令和6年度	130名	103名	112名	131名	146名	153名	保育所を通じた制度周知と、個別の働き掛け	保育所を通じた制度周知と、個別の働き掛け	健康福祉課	○	
			ファミリーサポートセンターの活動件数【再掲】	令和2年度～令和6年度	350件	326件	775件	939件	845件	882件	ニーズに応じた依頼員と提供員の丁寧なマッチング	ニーズに応じた依頼員と提供員の丁寧なマッチング	健康福祉課	○	
基本目標	4. 小さな拠点を中心として地域の暮らしを守る		集落活動センター事業の総参加者数	令和6年度	31,500人	28,202人(H30)	22,501人(R1)	22,992人(R2)	21,687人(R3)	25,904人(R4)	新型コロナウイルス感染症の影響による事業の縮小や休止が減り、昨年度より参加者数が増加している。	昨年5月の第5類感染症への移行に伴い、事業・イベントは年度当初からコロナ禍以前の通常開催ができる。参加者数の増加に向けて各団体の支援を行っていく。	まちづくり推進課	○	
			あったかふれあいセンターの集い利用者数(のべ人数)	令和6年度	39,000人	23,158人	22,782人	23,131人	21,588人	22,887人	感染症対策や集いの方法等の調整工夫を凝らしている。現在の受入体制からすると利用者数は概ね上限に達している。	地域のニーズを把握しながら、サテライト機能等を充実させ、利用者増を目指す。	健康福祉課	○	
			あったかふれあいセンターの集い利用者数(実人数)	令和6年度	1,800人	1,033人	958人	942人	781人	735人	感染症対策や集いの方法等の調整工夫を凝らしている。現在の受入体制からすると利用者数は概ね上限に達している。	地域のニーズを把握しながら、サテライト機能等を充実させ、利用者増を目指す。	健康福祉課	○	
基本的方向	小さな拠点の活用促進と各地域同士がつながるまちづくりの推進														
	小さな拠点の活用促進		集落活動センターを運営する組織の総会員数	令和6年度	420名	379名	376名	382名	332	361	昨年度は加齢の重なりによる減少の影響があったが、本年度は団体により増減はあるものの、全体として増加している。	引き続き各団体の活動を通じて、行事等の参加者数を増やすことにより、会員の増加と地域の活性化を図っていく。	まちづくり推進課	○	
	地域ファシリテーターの普及と活用促進		まちづくりサロンの開催数	令和2年度～各年	5回	2回	4回	0回	0回	10回	第4次佐川町地域福祉アクションプランの策定に当たり町内5地区、2回の計10回の座談会を実施して意見やアイデアを計画に反映。	令和6年度から2カ年かけて次期総合計画の策定作業を行うに当たり、各地区や学生を対象にワークショップを行い積極的に反映させていく予定	まちづくり推進課	○	
	地域移動手段の確保と維持		地域公共交通(ぐるぐるバス)の利用者数	令和6年度	10,000人	8,700人	8,411人	9,253	9,305	10,161	毎年地域の実情に応じた路線の見直しや地区での意見交換の開催、広報等により、利用者が着実に増え、目標の達成につながったと考えられる。	令和6年度策定予定の地域公共交通利便増進実施計画に基づき、路線の高速や広域などを実施し、さらなる利便性の向上と利用者の増加を図っていく。	まちづくり推進課	○	